

議会だより

いわいずみ

No.198

2022.4.15 発行
岩手県岩泉町議会



Contents

- 02 シリーズ私の復興
ゴール目指した5年7カ月
- 08 歴史民俗資料館 旧小川小へ整備
- 12 コテージの宿泊料金を改定
- 14 町の考えを問う（II 議員が一般質問）

大家族シリーズ ⑦

小川（中沢）の赤松信一さん7人家族です。令和初日生まれの健介君は、姉の桃子ちゃん、妹の菜々子ちゃんといつも仲良く毎日にぎやか。春にはじじとばばと田んぼに行くのが楽しみです。

あの日、そして今。

台風10号で被災された4人から、この5年7カ月の思いを聴きました。

前を向いて進む



武田 健さん
(小本・63歳)

軌道に乗りかけた所に新型コロナウイルス感染症、米価下落と厳しい現状が続きます。前を向いて進んでいきたいと思っています。

自宅は2階まで浸水し、農地、農機具、倉庫、車両が被災。3年目ようやく収穫できました。片付けや清掃、農地復旧や新割りまでボランティアの協力で、住宅修繕と農業再開にこぎ着けました。



北川 恵美子さん
(岩泉・飲食店店主)

8月31日朝5時に店に向かいました。店内を見てこれで終わったと思いましたが、友人が昼夜問わず片付けを手伝ってくれました。関西の友人から「必ず行くから店の明かりをとめてくれ」と励まされ、再開を決意しました。

友人に励まされ店の再開を決意



卯名根口 育男さん
(小川・54歳)

新たな生活をスタートしていますが、河川改修後利用しやすい環境になるか心配です。町と議会には、安心して暮らせる町にしたいと期待しています。

家で暮らすこと良かったと実感
再建できたのは皆さまのおかげ



畠山 初郎さん
(大川・77歳)

浅内の大沢地区は孤立し、住民は救助へりで避難所へ搬送されました。当時は自治会長で、地元の方不明者捜索に携わった後、約2カ月間に及ぶ避難所生活となりました。現在は、我が家の裏山などで県の砂防ダム工事が行われていきます。私はその後、心臓を患い不自由の身ですが、家に戻って暮らすことができ良かったと感じています。



ゴールを目指す28年度生まれの子どもたち

ゴール目指した5年7カ月

平成28年8月30日、台風10号は町内の各地域に甚大な被害をもたらしました。観測史上最大の251ミリの記録した降水量は尊い命と財産を私たちが奪いました。復興のゴールを目指してみんなで取り組んだ5年7カ月。町の災害復旧工事などは、おむね完遂の目途がたちました。今号ではシリーズ「私の復興」特別編として、台風10号関連を掲載します。

シリーズ 私の復興 Part-8 特別編

次は、議会のあゆみ

応援職員の支援

10自治体延べ61人

台風災害直後から、3年度末までに10自治体、延べ61人の応援職員の派遣をいただきました。3年3月末で退任された3人からお話を聴きました。

鼠入川の岩盤との戦い 声かけて元気もらった



うめむら よしお
梅村 芳男さん
(岩手県派遣職員)

私は、町道鼠入川線を担当しました。硬い岩盤との戦いで、2週間掘っても30センチも下がらない。3年かかっても終わらない工事と思っていました。過ぎたことを考えると後悔ばかり。先を見ると気が滅入る。できることは今日ベストを尽くすこと。毎日が試行錯誤でしたが、業者さんと打ち合せをしながらやってまいりました。通勤の途中に「ご苦労さまです」「暑くなりましたね」と声をかけられて元気をもらい、さすが岩泉町だなと思えました。4年間過ごしやすく、仕事しやすい環境を整えてもらい心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

議会のあゆみ

被災者に寄り添った議会運営を

この5年7カ月間、被災者支援と復旧事業を優先した議会運営に努めてきました。防災士取得など、防災・減災の取り組みも強化した一つです。



台風災害犠牲者を悼み議場で黙とう

通常ルートが寸断し 4時間かけて議会へ

発災から8日後の9月7日、平成28年9月定例会を開きました。これは、議会の規定上、定例会の招集告示(※)がされている場合は、議会を開催しなければならぬためです。議員の中には、通常ルートが寸断され、4時間以上かけて出席した者もいました。通常であれば、10日間程度の会期で議会を開きますが、被災者支援と復旧事業を最優先とするため、会期を73日間としました。仮設住宅を訪問意見交換を行う



膝を突き合わせての意見交換

設住宅での生活が始まった住民を3班に分かれて訪問し、意見交換を行いました。入居後の生活環境や将来の不安に対する要望や意見がありました。

復旧・復興へ向け 特別委員会を設置

29年6月定例会で「平成28年台風第10号豪雨災害復旧・復興推進調査特別委員会」の設置を議決。復旧・復興に関する調査を目的に、がれき処理場や河川工事の現地調査、委員会での協

議員12人が 防災士取得

議会は令和元年11月、防災・減災の知識を深め、これまで以上に地域防災への関わりを強くしていくため、防災士の取得に取り組み、12人の議員が防災士となりました。

取材を終えて

畠山 昌典

シリーズで皆さんの復興を追い追いました。当時を思い出し、涙ながらに話す人。前向きに笑って話す人。と反応はさまざまでした。一緒に話すのは一人ではここまで来られなかったという感謝の言葉。大災害で大きな爪痕が残りましたが、支え合いと感謝の心を教えられたのかもしれない。



災害廃棄物分別処理場の現地調査 (29年10月)

開通日の笑顔 達成感あった



いずみ うち
矢内 泉さん
(岩手県派遣職員)

台風直後は岩手土木センターに勤務しており、県管理の道路啓開にあたりました。町全体の被害がひどく、こんなに大変な状況とは思っていませんでした。特に国道455号は、一刻も早い開通を皆さんが望んでいたもので、プレッシャーがあり、夜通し工夫しながら早期開通を目指しました。開通の日は多くの車が並び、皆さんがすごく笑顔だったのを記憶しております。仕事をやり終えた達成感がありました。皆さんにお世話になり、無事仕事できたことに大変感謝申し上げます。本当に4年間お世話になりました。

岩泉の大きな財産 水、広葉樹、人柄



きみよし みかみ
三上 喜美義さん
(岩手県派遣職員)

私が岩泉町に来たときは、工事発注の段取りがほとんど整っていて、災害当時から復旧の経過が見て取れるような状況で、復旧工事の附帯工事事務を担当しました。岩泉町に住んで感じたことは、やっぱり水が美味しいこと。そして、自然豊かで、人柄がよいところです。子どもから大人まで挨拶を自然にできることは、町の大きな財産だと思います。調和した町であってほしいと願ってやみません。非常にすばらしい人たちと出会うことができ、本当に来て良かった。3年間ありがとうございました。

次は、諸課題に丁寧に取り組む

(※) 地方自治法に基づいて町長が議会を招集する旨を、開会3日前までに知らせること



少子化対策にどう取り組むか (いわいずみこども園卒園式)

諸課題に丁寧に取り組む

中居町長の施政方針演述



町長施政方針 町 HP

令和4年第1回定例会は、2月10日から3月10日までの29日間の会期で開きました。初日の施政方針演述で中居健一町長は「生きがいを感じ、将来に希望が持てるまちづくりのため諸課題に丁寧に取り組む」と述べました。

3月末で退任する佐々木宏幸副町長の後任に、三浦英二さんを選任することに同意しました。

副町長の選任に同意

副町長に前・総務課長の三浦英二さん(岩泉・60歳)を選任することに同意しました。任期は4月1日から4年間です。



議場で挨拶する新副町長

県の河川工事 6年度に完了



堤防整備と護岸工事はおおむね完了【乙茂地区】

問 河川改修の護岸完成後に、消防水利などのため、必要箇所段階設置が可能か。

答 要箇所にもよるので、個別に相談。

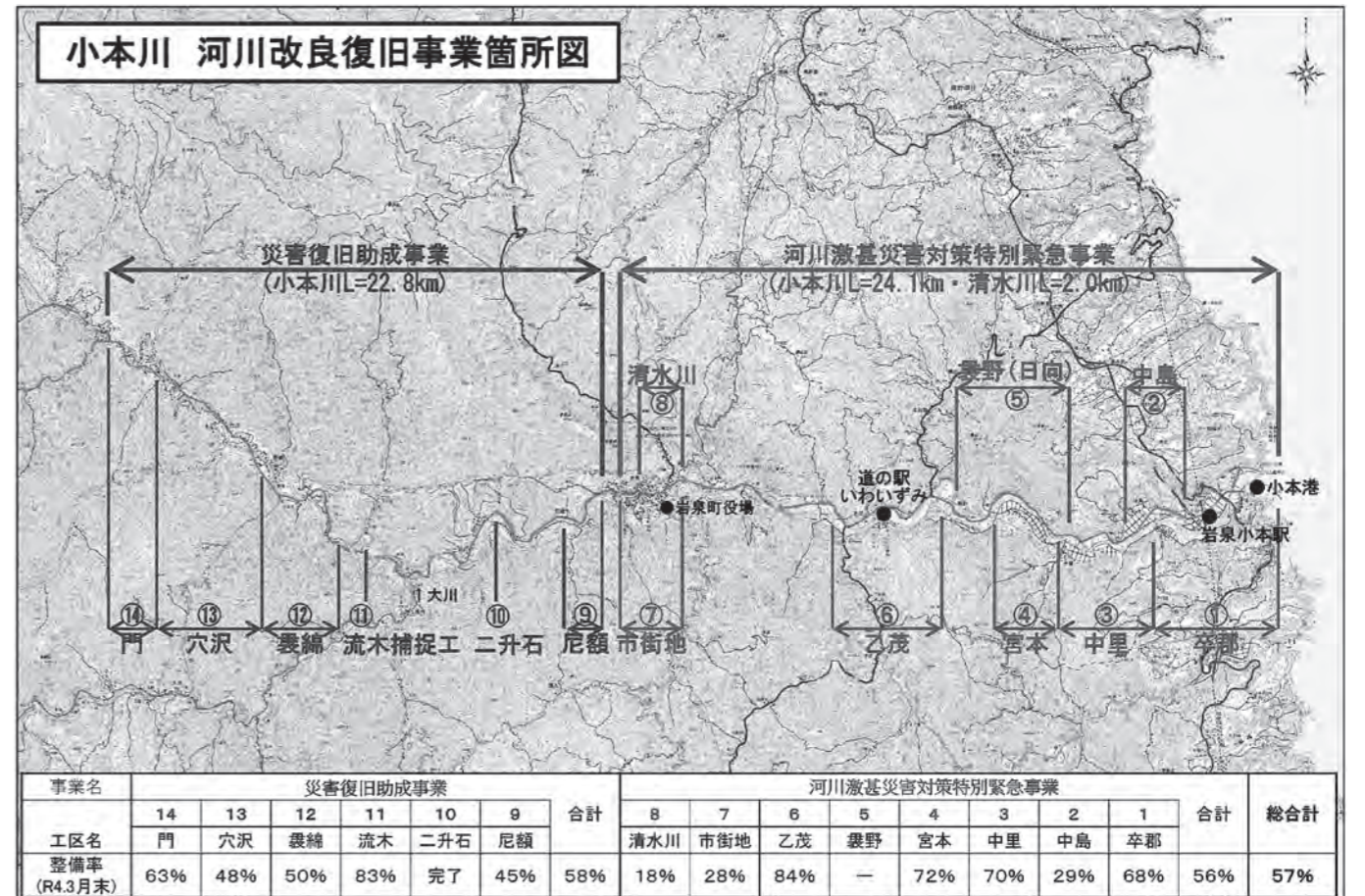
問 道路のかさ上げ箇所には通学路もある。総務常任委員会での通学路安全調査の際、学校側から工事日程や施工箇所が不明との声があった。きちんと伝えてほしい。

答 歩道のかさ上げなど通学者への影響が伴うことから、学校関係者に対して個別に説明したい。

問 河川に接している宅地で、護岸が崩れるなど危険な箇所がある場合どうなるか。

答 現地の状況を確認して判断する。

議会は、岩泉土木センターから「平成28年台風第10号豪雨災害復旧復興事業」にかかる事業説明の申し出を受け、2月9日に全員協議会(議員会議)を開きました。県からは、安家川河川改修が4年度、小本川河川改修が6年度に完了予定であることなどの説明がありました。質疑内容の一部を紹介します。



整備率：護岸と河道掘削の延べ延長に対する割合

施政方針の概要

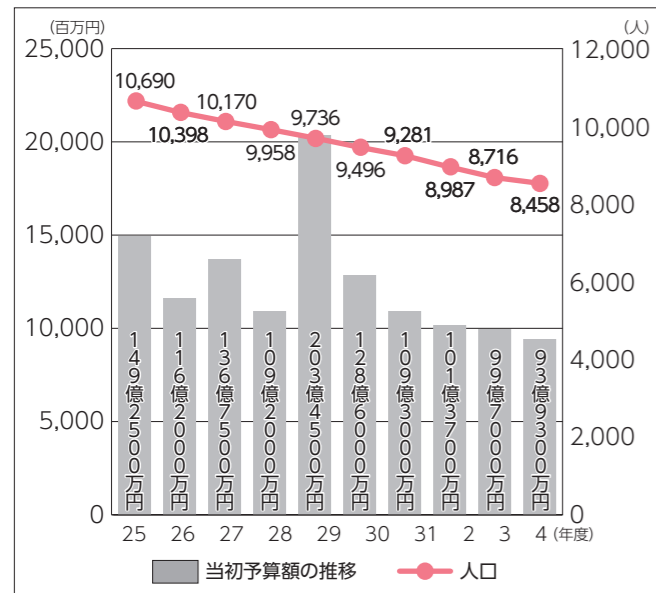
町政運営の基本姿勢は 持続可能なまちづくり

- ◆ 産業振興と地域経済活性化
- ◆ 健康・福祉・医療の強化
- ◆ 安全・安心な環境づくり
- ◆ 子育て支援と教育環境の充実
- ◆ 福祉と健康増進へ組織改編
- ◆ 業務の自動化、手続きのオンライン化
- ◆ 町有未利用資産の処分とふるさと納税など自主財源の積極的な確保



幼少期からの運動で健康づくり

一般会計当初予算と人口の推移



4年度 各会計の当初予算額

会計名	予算額	伸び率
一般会計	93億9300万円	△5.8%
国民健康保険	11億4070万円	△1.4%
診療施設勘定	3600万円	1.7%
後期高齢者医療	1億2720万円	3.9%
介護保険	15億4860万円	△5.8%
サービス事業勘定	1130万円	0.9%
観光事業	1億6920万円	△10.1%
公共下水道事業	3億2130万円	19.6%
大川財産区	520万円	△58.4%
合計	127億5250万円	△4.9%
水道事業 (公営企業会計)	13億2689万円	11.0%



令和2年3月に閉校した小川小。5年度には歴史民俗資料館に生まれ変わります

4年度予算

歴史民俗資料館 旧小川小へ整備

令和4年度当初予算の新規事業は、歴史民俗資料館を旧小川小へ整備するための工事費5414万円や茂師消防屯所の建築工事費3983万円などです。【関連23頁】

一般会計の当初予算額
93億9300万円

令和4年度一般会計と6特別会計、水道事業会計の総額は、140億7939万円。うち一般会計は93億9300万円、前年度から5億7700万円減少(△5.8%)しています。

要因は、予算編成時期と町長選挙が重なったことで、骨格予算(政策的経費を除く、経常的な経費を中心に編成した予算)となったためです。

政策的経費などは、3月25日の第2回臨時会において全会一致で可決し、一般会計の総額は96億1408万円となりました。

地域で消費地域で生産

議員発議で地消地産条例を制定

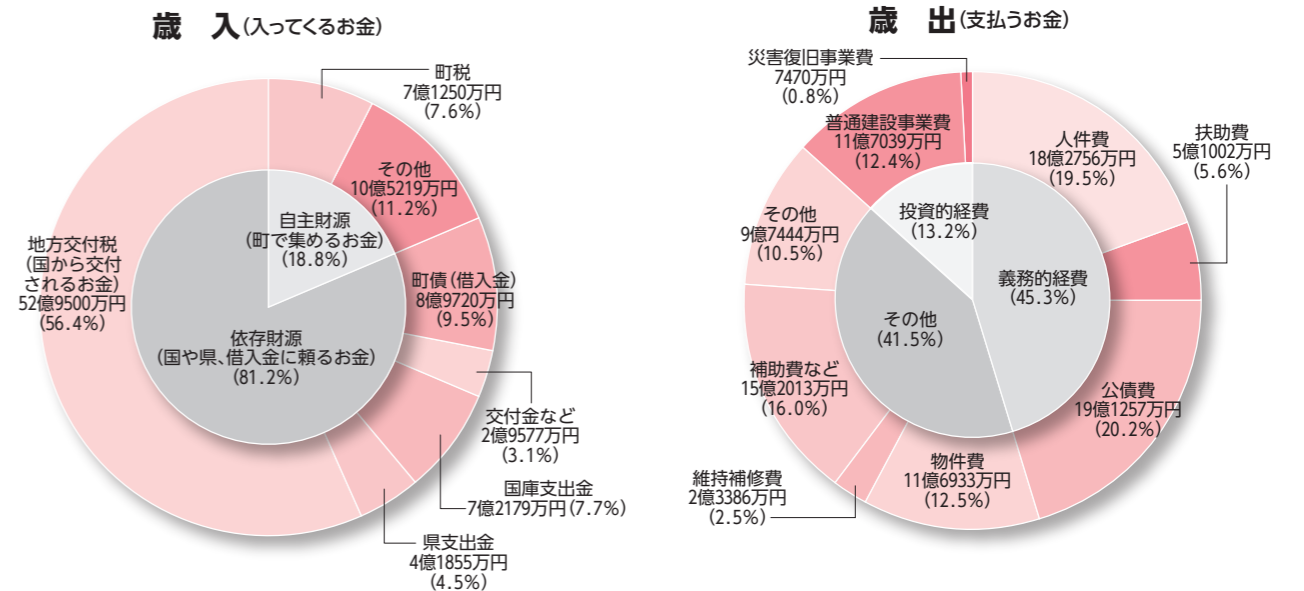


自分たちで育てたサツマイモでの焼き芋は格別です

産業常任委員会(三田地久志委員長)は、農林水産業の持続的発展を促し、豊かな町民生活の実現を目的に地消地産条例の制定に向け、調査研究してきました。

3月10日、議員発議(議員が議会に議案を提出すること)で「岩泉町地消地産の推進に関する条例」を提案し、原案のとおり可決しました。

4年度予算 一般会計 93億9300万円の内訳



財政用語の解説

- 【地方交付税】 財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】 事業に対して国・県から交付されるお金
- 【町債】 事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- 【人件費】 職員の給与
- 【扶助費】 児童・高齢者などへの支援の経費
- 【公債費】 国などから借りたお金の返済金
- 【物件費】 物品購入、委託、使用料など消費的な経費
- 【維持補修費】 公共施設の維持・管理費
- 【補助費】 各種団体への助成や負担金
- 【普通建設事業費】 道路、橋、学校の整備に要する経費
- 【災害復旧事業費】 自然災害で被災した施設の復旧に要する経費

目的

農林水産業の発展と豊かな町民生活実現

役割

- 町、生産者、生活者 および事業者の役割を明らかにし、農林水産業の持続的な発展を促し、豊かな町民生活の実現に資すること。

生産者

- 安全性の確保
- 品質情報の提供

町

- 推進施策の実現

生活者

- 町内産の優先使用
- 食育の推進

事業者

- 町の施策に協力



議決結果

有害鳥獣の捕獲頭数が増加



町鳥獣被害対策実施隊員が一堂に会した山野清掃活動

新年度予算審査特別委員会（三田地久志委員長）は、3月7日から10日までの4日間の日程で開きました。審査の中では、有害鳥獣捕獲事業や消防団員報酬の支払い方法変更などへの質疑がありました。ここでは、いくつかの内容を要約してお伝えします。

鳥獣対策 ジビエ構想の見通しは 取り組む人いれば検討

問 捕獲したシカは保管庫にどのくらい持ち込まれているか。

答 本年度は2月末で501頭。捕獲頭数1145頭の約半数である。

問 捕獲個体の運搬委託は燃料も高くなっており、採算が合わないとの声があるが。

答 急激な捕獲頭数の増加で、設計と現状が合わない状況。猟友会と協議する。

問 ジビエ構想の今後の見通しは。

答 地域住民からジビエ（狩猟で捕獲した野生鳥獣の食肉）料理に取り組む人がいれば検討していく。



ジビエ料理の可能性を研究

ますの声

中長期的活用 ジビエの考え 高田 孝治さん（小川・45歳）

畑わさびを栽培しながら、有害鳥獣駆除をしています。シカが多く圃場を荒らされるので、わなを設置し駆除しています。シカ肉の活用としてジビエ食肉加工も考え活動していきます。



生活道 新年度の補助申請時期は 4月～6月に受付をする



生活道補助金で整備した生活橋

問 新年度の補助申請方法は。

答 4月から6月に申請を受け付ける。審査委員会を経て8月に結果通知を行う。優先順位が高い方から採択となる。

問 業者は、組合が選定するののか。

答 1者の見積書を申請書に添付し、審査を受けるようになる。

ますの声

組合を作り 制度を利用 佐々木 藤三さん（小川・69歳）

近隣の3軒で組合を作り、生活道補助を利用して橋を架けました。補助が無ければ、川向かいの畑や山林の仕事ができませんでしたので、とても感謝しています。



消防団

報酬は個人へ支給か 国指導で4年度から

問 現在、分団へ一括で支給されている消防団員の報酬が、個人支給に変更となると聞いたが。

答 報酬という性格上個人支給が筋という国の指導もあり、4年度から実施する予定である。

問 個人支給になると火災直後から活動する団員、火災途中や消火後から活動する団員どちらも1出勤になるのか。

答 詳しいところまで決めていない。今後、精査しながら進めていく。

ますの声

団への活動費 別枠で支援を 三上 博さん（6分団2部班長 釜津田・61歳）

毎週、警報活動などに出動しています。コロナが終息すれば、消防団活動が増してくると思います。活動費は別枠での支給をお願いしたいです。



消防団員の報酬が個人支給に変わります



会議録

定 空き家バンクの実績は 住 2月末での成約が7件



空き家の活用で移住定住の促進を

問 空き家バンクの現在の実績は。

答 登録数は2月末時点で13件。成約数は7件である。

問 現在、契約可能な物件数はどのくらいあるか。

答 現在交渉中で公開をストップしている物件を除くと、賃貸2件、売却2件の計4件である。

ますの声

エアコンを更新 奨励金助かった 小松 ひとみさん（岩泉・68歳）

入居者が退去し、シルバー人材センターに頼みハウスクリーニングしました。空き家バンクに登録したら、すぐに入居者が決定。エアコンを更新したので、奨励金（※）はとても助かりました。

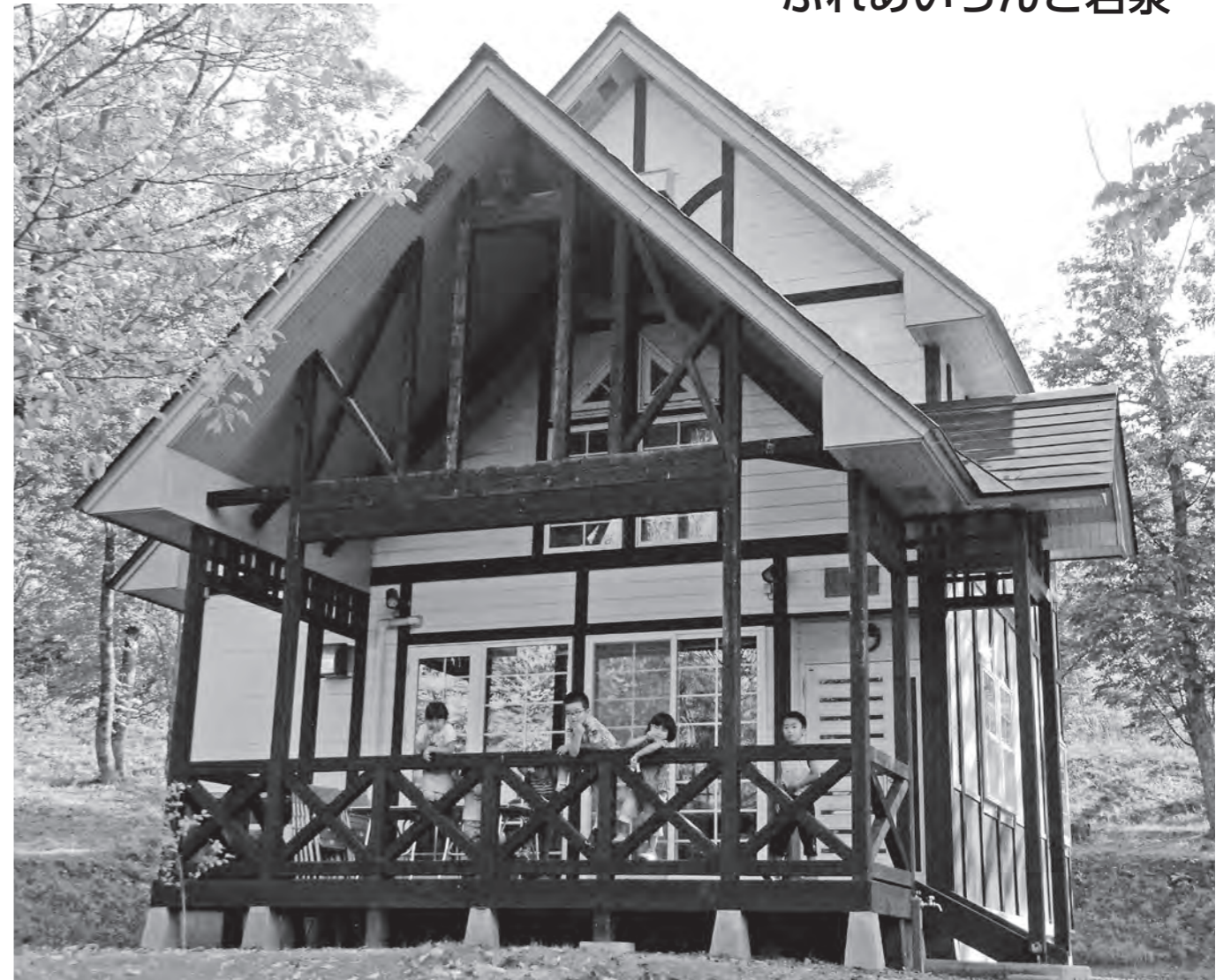


（※）空き家・空き地バンク成約奨励金…空き家・空き地バンクに登録した空き家を買ったり、貸したりしたときに支給される奨励金

次は、コテージの宿泊料金を改定

コテージの宿泊料金を改定

～ふれあいらんど岩泉～



コテージで過ごす子どもたちも大興奮

条例補正予算審査特別委員会（合砂司委員長）は、2月28日と3月2日の2日間開きました。審査の中では、ふれあいらんど岩泉の料金改定に関する条例や釜津田中学校統合にかかわる浅内公園トイレ改修事業への質疑などがありました。

キャンプの需要増でフリーサイトを新設

ふれあいらんど岩泉の利用料を4月1日から改定する条例を可決しました。平成17年以降、消費税の増税以外の改定を行っていないことや、数が生じ設定がわかりにくいことから改定を行ったものです。新型コロナウイルス感染症の流行で、近年はキャンプの需要が増えている。そのため、テント一張りごとのフリーサイト料金も新設しました。

ふれあいらんど岩泉の新材料金表

区分	基本料金		
	通常	ハイシーズン	
コテージ(6人用)	12,000円	13,500円	
コテージ(10人用)	18,000円	20,000円	
トレーラーハウス	9,000円	10,000円	
ブルートレイン	A寝台(2人)	3,600円	4,200円
	B寝台(4人)	4,800円	5,600円
	A寝台貸切(28人)	21,000円	23,000円
	B寝台貸切(32人)	16,000円	17,000円
オートキャンプ	一般サイト	4,800円	5,000円
	キャンピングカーサイト	6,300円	6,500円
	トレーラーサイト	6,700円	6,900円
フリー(テント1張り)	2,000円	2,500円	
シャワー/ガス/給湯器	無料		

冬キャンプの状況は 休前日は満杯である



冬キャンプ大盛況のふれあいらんど岩泉

問 料金設定変更の経緯は。

答 利用者から料金がわかりにくいとの声があった。加算と端数がない料金設定に改定した。

問 冬キャンプの利用状況は。

答 土日祝日、休前日にキャンプ場を開設している。休前日は10区画がほぼ満杯となっている。

まずの声

箱石 融さん（ふれあいらんど支配人・54歳）
冬キャンプも好評 本格営業へ準備中
冬キャンプも大変好評でした。ブルートレイン改修のクラウドファンディングも成功し、春の本格営業に向けた準備中です。皆さまのお越しをお待ちしています。



浅内公園 通年使用の管理体制は 自治会との協議を進める

問 改修の内容は。

答 釜津田中の閉校に伴い、岩泉中までの通学が約1時間かかる。父兄からトイレ設置の要望があった。浅内自治会管理の浅内公園トイレを改修し、洋式便座と簡易水洗化を行う。

問 通年使用の管理体制は。

答 浅内自治会と協議を進めている。維持管理費用は、補正予算をお願いしたいと考えている。

観光センター トイレを洋式化へ 一体的に検討する

問 岩泉観光センター（旧岩泉駅）隣の公衆トイレを洋式化にできないか。

答 台風災害前は旧岩泉駅舎を含めた整備計画があったがストップしている。今後、トイレと旧岩泉駅舎を一体的に検討していく。

問 観光センターの下水道接続工事で執行残がある。財政サイドと協議し洋式化は考えられなかったか。

答 幅広い柔軟な発想が欠けていた。どのような効果がおよぶか含めて対応していきたい。

敬老 記念品を商品券に 多方面に意見聞く



節目の記念品の再考を

問 敬老記念品は何を贈呈しているか。

答 米寿（88歳）は桐の小物入れ、白寿（99歳）は桐の小だんす、101歳以上は龍ちゃん商品券を贈呈している。

問 記念品を商品券に変更できないか。

答 多方面から意見を聞き、何がいいのか検討していく。

まずの声

田名場サワミさん（岩泉・91歳）
どんなものでもありがたいです



記念品は頂戴できれば、どんなものでもありがたいです。この歳になると大抵のものはあるので、商品券が良いと思います。

一般質問



町の考えを問う



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンはこちらから。

11人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。3月定例会では、11人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

- 11人の議員が登壇
完全無償化の子育て支援を
シルバー人材の運営支援を
安家産直と氷渡洞の見通しは
通学路の安全確保を
通学時間の有効利用を
推進法どう活用し雇用創出
防犯灯の管理、認識は
政策目標への最優先施策は
未整備区間の早期事業化を
支援住宅の無償譲渡を
気象変動に早急な対策を
特産品で高齢者所得確保を
小児コロナワクチン接種は
復活支援金の申請相談を
地域農業の活性化に先導を
一人一台情報端末の対応は
ふるさと納税返礼戦略は
三陸沿岸道路の利活用策は
人口減少に大胆な対策を

完全無償化の子育て支援を
効果を検証し議論を深める



魅力ある子育て支援を望みます

17文字のひとりごと
創りたい
むしよう(無償)に
子育てしたい町

町は、多岐にわたる支援で、子育てをバックアップしている。しかし、人口減少に歯止めがかからず、その対策は急務である。そこで、生まれてから義務教育が終了まで「お金のかからない環境の整備」を提案する。

保育料や給食費、教材費などを完全無償化にし、町内外に「子育てに全力で取り組む町」としてアピールしないか。
町長 本町は45項目の子育て支援を行い、3歳以上児の保育料・副食費無償化など経済的な負担軽減に努めてきている。
義務教育は、授業料や教科書代は無償であるが教材費や修学旅行費などで、年間一人当たり小学校で3万3千円。中学校で8万1千円が保護者負担となっている。



畠山 昌典 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



提案の教育費などの無償化は、保護者に喜んでもらえる施策であると認識する。無償化によりどの程度の効果が得られるか検証し、施策展開への議論を深めていく。

17文字のひとりごと

若者を
下支えする
高齢者

安家産直と氷渡洞の見通しは

地域機運の高まりを支援する

町長 「お盆朝市」の開催や「栗まんじゅう」の研究が行われ、地域の機運が高まっている。今後も積極的に支援していく。
氷渡洞の再開は、安全確保が問題である。専門家と地域の意見を聞き、慎重に検討していく。

八重樫龍介 議員
一般質問・答弁
全文はこちらから
問 シルバー人材センターは、高齢者の生きがいの充実、健康保持などに貢献している。空き校舎管理など年間業務を委託し、運営支援を行うべきでは。



積極的なシルバー人材センターの活用を



畠山 和英 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 町長 二期目の政策目標「持続可能なまちづくりの創造」へ最優先に取り組み施策の内容、スケジュールは。

町長 「龍泉洞園地周辺の環境整備」や「ふれあいランド岩泉の再整備」は民間活用も含

問 政策目標への最優先施策は 答 龍泉洞園地4年に方向決定

問 町長二期目の政策目標「持続可能なまちづくりの創造」へ最優先に取り組み施策の内容、スケジュールは。

答 町長二期目の政策目標「持続可能なまちづくりの創造」へ最優先に取り組み施策の内容、スケジュールは。



民間活用の龍泉洞環境整備に期待

17文字のひとりごと
学び舎の
険しい道のり
未来へと

危機を越え
あつい期待に
希望駆ける



佐藤 安美 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 通学路の安全確保を 答 待避所の整備を要望

問 大川小学校と釜津田中学校の閉校に伴い通学がスクールバスとなる。大川・釜津田地区の通学・通園路は道幅が狭く、急こう配で冬も危険である。子どもたちを守るため安全確保対策を。

問 通学時間の有効利用を 答 映像視聴などを検討中

問 スクールバスでの時間の有効利用に取り組み。長時間のハ



通学時間の有効活用と安全運行を願います。

17文字のひとりごと
学び舎の
険しい道のり
未来へと

危機を越え
あつい期待に
希望駆ける

ンデイをメリットに変える試み。
教育長 大川小と釜津田中の閉校に伴い、最長で約1時間を見込む長時間のスクールバス運行となる。
通学時間の有効活用は何かの対策が必要。音声教材、教育や教養の映像視聴などが考えられる。保護者や児童生徒の意向を尊重し、学校とも連携しながら検討していく。

問 推進法どう活用し雇用創出 答 組合の設立へ運営方法検討

問 人材確保と雇用の場の創出は喫緊の課題である。特定地域づくり事業推進法(※)をどのように活用し若者や移住者の雇用の場を創出する考えか。

町長 夏場の畑わさびと冬場の菌床シイタケ

問 防犯灯の管理、認識は

問 防犯灯は、危機管理にも共通し、地域住民の道と心の支えになっている。管理、把握、認識をどのように捉えるか。

の仕事を組み合わせるなど、年間を通じた仕事を創出する特定地域づくり事業協同組合設立に向け、調査研究を

答 地域要望へ丁寧に対応

町長 1300基を超える防犯灯・街路灯の整備を進めてきた。地域と地域をつなぐ灯りであり、地域要望を丁寧に聞き対応する。



坂本 昇 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



年間雇用で安定収入に結び付けたい



三田地和彦 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



ひと工夫の住宅対策で定住促進を

問 支援住宅の無償譲渡を 答 住宅対策の手法検討へ

問 人口減少対策を早急に考えなければならぬとの思いから10回目の質問になる。宮城県七ヶ宿町のよう

町長 住宅対策の手法として検討する必要があると考える。

問 気象変動に早急な対策を 答 市町村と連携し国に要望

問 気象変動は漁業に大きな被害をもたらす

町長 水産業の不漁は生活基盤を揺るがしかねない深刻な状況に直面しており、強い危機感を持っている。

その他の質問

◆安定運営可能な交付税を

◆任期付職員の内職員の
◆会計年度任用職員の
◆待遇改善 など

その他の質問

17文字のひとりごと

20年
住んで無償の譲渡待つ

17文字のひとりごと
緊急性
高い雇用の場の確保

(※) 地域の仕事を組み合わせる年間を通じた仕事を創出し、地域の事業者が協同して職員を雇用し、それぞれの事業者にその職員を派遣できる仕組みの創設を目的とした法律



三田地泰正議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 地域農業の活性化に向けた取り組みを先導すべきでは。
町長 安心して経営継続ができるよう関係機関と連携する。個々にきめ細かな営農相談を行い、適時適切な指導と支援に努める。

問 地域農業の活性化に先導を
答 適時適切な指導支援努める

問 一人一台情報端末活用の授業対応は。

問 一人一台情報端末の対応は
答 地域おこし協力隊員を活用

町長 一人一台情報端末活用の授業対応は。教育長 運用や教職員サポート体制は、地域おこし協力隊一人をICT支援員に委嘱。定期的に設定や故障対応、研修会や授業支援をしている。

その他の質問

◆三陸道の全線開通



三田地久志議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 町は高齢者施策として健康増進・維持を実行している。
少し角度を変えて、高齢化率が一番高い安家地区をモデルとし、高齢者の所得確保を提案する。

問 特産品で高齢者所得確保を
答 安家地区モデルに取り組み

は有効な手段と考える。食・文化・観光など有機的に組み合わせ、高齢者の所得確保について。まずは安家地区をモデルに取り組み、仕組みが構築できしだい他の地域への導入も進めて、町全体の地域活性化につなげていく。

特産品の安家地区大根、栗まんじゅうなどを製造販売することで高齢者の所得を確保し、地域おこし協力隊員が運営を担う仕組みを構築できないか。

町長 地域おこし協力隊をキーパーソンとして課題解決に導く方法を

17文字のひとりごと
高齢者
特産品で町おこし



安家地区は食の宝庫

17文字のひとりごと
なりわいと生きがい暮らしの時の時

問 獣害対策にわな猟免許取得へ支援を。

町長 わな猟免許には



わな猟有資格者の養成を

一人当たり1万5400円を支援。有資格者を増やす支援の調査研究をしていく。

問 小児コロナワクチン接種は
答 町内集団接種検討し協議中

問 子どもの国内感染者は1月だけで9万人を超え、12月に比べて1.96倍と急増している。本町の5~11歳へのコロナワクチン接種は、どのように進めていくのか。

町長 接種を希望する



林崎竟次郎議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



5~11歳の小児のために集団接種を検討中。

現在、済生会岩泉病院と協議している。



新型コロナウイルス感染症の終息を祈る

問 復活支援金の申請相談を
答 全員申請できるように対応

問 国はコロナ禍の影響を受けた事業者を対象に、事業復活支援金の制度を創設した。
町長 申請には商工会などで事前確認が必要とされる。関係機関と連携し、申請状況を確認しながら、該当者全員が漏れなく申請できるように、町も対応していく。



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 ふるさと納税返礼品戦略は
答 事業者が多数参画する工夫

問 ふるさと納税返礼品は寄付金額の3割。寄付金が1億5千万円であれば返礼品市場は4500万円。返礼品市場へ町内事業者の参画拡大戦略は。



返礼品として人気のホルモン鍋

町長 本年度の寄付額は1億4千万円超と昨年度対比で2000万円以上増えると予想している。令和8年度の目標は寄付金額3億円で返礼品市場は9千万円。返礼品開発会議を行い多くの事業者から参画いただくよう工夫する。

その他の質問

◆政策実現に向けた民間活用

17文字のひとりごと

土ゆるみ
新たな風に
気は締め

17文字のひとりごと

見へワクチン
メリットデメリット
良く知ろう

議会の施策要望に 町はどう答えたか



議員 菊地 弘已

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 人口減少に大胆な対策を 答 積極的な調査研究に入る

問 本町の人口は昭和35年と比較して約70%減少している。特に有芸地区は約90%、安家地区は約80%と大変な状況で、大胆な対策が必要である。

UJターソンと地域おこし協力隊に町有林の活用や山林、耕作地、空き家の無償提供などを考えてはどうか。

町長 人口減少を最重要課題と捉え、子育て支援策を進めている。地域おこし協力隊を積極的に活用し、移住定住対策を進める。

地域おこし協力隊は、任期満了後に定住

した人が3人いる。大きな成果である。現在活動中が11人、4年度着任が6人の予定であり、徐々に成果が表れると考える。
提案の山林、耕作地、空き家などの提供は、転入者から見れば魅力的な条件である。
耕作放棄地の拡大や空き家対策など町政課題にも通じるので、今後の施策展開に反映できるように積極的に調査研究に努める。



耕作地の無償提供で町政課題解決へ

17文字の
ひとりごと
今見せろ
減少止める
底力

1月20日、町議会が昨年10月27日に提出した令和4年度町施策への要望に対し、町の回答がありました。
主な3つの内容をお知らせします。

畜産酪農 ヘルパー制度の充実を 人材確保に努めていく

要望 畜産・酪農ヘルパー制度の充実と地域おこし協力隊を活用した就業対策を。

回答 環境整備、地域おこし協力隊を活用した人材募集に努めていく。



人材確保で畜産・酪農を後押し

経済 小規模事業者への支援を 実効性のある施策を検討

要望 コロナ禍で厳しい小規模事業者へ商品券活用需要喚起。振興策の創出を。



龍ちゃん商品券で地域経済の活性化を

子育て 出産祝い金の増額を 総合的に検討をする



祝いを増額し子育ての応援を 佐藤丈太郎くん(釜津田・0歳)

要望 出産祝金の増額と誕生時、入学時での段階支給を。

回答 現在45項目(※)の子育て支援をしている。支援策全体で総合的に検討する。



(※)町の子育て支援制度

傍聴者の声



佐藤 幸一さん
(大川・58歳)

3月定例会の傍聴者は、延べ11人でした。傍聴された大川の佐藤幸一さんから議会に対する声を聴きました。

若者たち対象に 語る会の開催を

傍聴のきっかけは、傍聴したいという思いがあってもなかなかきっかけがなく、恥ず

かしいことに25年ぶりの傍聴でした。
今回の議会では11人の議員さんが一般質問をされると聞いたので来てみました。

傍聴の感想は。

都合により午前中だけでしたので、4人の議員さんの様子しか傍聴できませんでした。目の前の課題解決も重要なことであり、取り組んでくれていると感じました。

議員への要望は。

議会や町政への要望は。

目今の超人口減少時代に対応していくか知恵を出し合い、私たちの孫世代が暮らしたいと思える町にしていきましょう。
持続可能な地域を目指して。

次は、どうなりやんしたあの提言



来年のモミジの紅葉時期には歴史民俗資料館へ（旧小川小）

学校の統廃合が進み、空き校舎が増えています。議会では、幾度となく活用策を提言してきました。このたび、旧小川小学校（令和2年3月閉校）を歴史民俗資料館の移転先とすることで、令和4年度予算を可決。校舎改修工事などを行い、5年度に展示品を移設。旧小川小のシンボルだったモミジのきれいな時期にオープン予定です。

空き校舎

旧小川小学校校舎の活用は歴史民俗資料館とする

- ◆ 4年度 校舎改修工事
- ◆ 校庭、駐車場整備
- ◆ 5年度 移設作業
- ◆ モミジの紅葉時期にオープン
- ◆ 旧小川小活用計画
- ◆ 歴史民俗資料館機能の移設
- ◆ 交流室の設置
- ◆ 地域活動と避難所として体育館を活用

問 地方移住に関心を示す若者をターゲットに空き校舎の情報発信を行い、差別化を図った活用を。

答 旧小川小学校を除く6施設は募集要項を制定し、公募を開始する。旧小川小学校は、歴史民俗資料館をメインとして活用する。

3年9月定例会【一般質問】



質問のその後

どうなりゃんした... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。



定住化に向けた宅地分譲が進められています

定住化

住環境の整備を宅地分譲を行う

町の最重要課題である、少子高齢化。人口減少を食い止めるために、住環境の整備を進めるよう町に提言を続けてきました。令和3年度から整備を始めた「上町地区の宅地分譲」が4年度に販売されます。

問 町の担い手につながる子育て世代の多様なニーズに対応した住宅整備が必要では。

答 2年度から住宅対策を地域整備課へ一元化し、新たな施策に取り組む。

問 安価で借りられ、長期入居後は取得可能な住宅を整備しないか。

答 町営住宅の入居基準の緩和、宅地分譲を進める。他の実例も研究し検討する。

2年3月定例会【一般質問】

町の取り組み

- ◆ 2年度 住宅対策室を新設
- ◆ 町営住宅の入居条件を緩和
- ◆ 岩泉三本松と斐綿浦場に宅地分譲地整備
- ◆ 空き家実態調査
- ◆ 3年度 岩泉上町に宅地分譲地整備
- ◆ 4年度（予定） 岩泉上町の宅地分譲販売開始
- ◆ 岩泉三本松地区の住宅1棟を売却

地域おこし協力隊卒業生



ますの声

人の優しさが好き 営みを体験したい

協力隊任期中に社会福祉主事の資格を取得し、小川放課後児童クラブで働いています。住民の優しさ・たくましが大好きです。町に受け継がれる営みをもっと体験したいです。

菊野 洋一郎さん (岩泉・47歳)

定住者

ますの声

支えられた11年に感謝

佐藤 真太朗さん (岩泉・32歳)

秋田県から引っ越してきてたくさんの人と関わり、支えられた11年間に感謝しています。永住を決めた今、これからは自分が少しでも町の力になれるよう尽力していきたいです。



ますの声

民俗資料館の整備 使いやすさを望む

山下洋一郎さん (小川・78歳)

旧小川小学校閉校後の景観整備に地区の皆さんと尽力してきました。願っていた民俗資料館の整備が決まり、喜んでいきます。多くの人が訪れ、住民が使いやすい施設になることを望みます。

ますの声

旧大牛内分校の 宿泊施設活用を

阿部 佳史さん (小本・70歳)

旧大牛内分校は簡易宿泊施設の需要がありそうです。潮風トレイルのお客様や子どもの宿泊学習で、キャンプファイヤーなどの野外活動を楽しめる場所になれば、地域も活気づくと思います。



簡易宿泊施設への活用を（旧大牛内分校）



議会だよりが 全国1位

皆さまの取材協力に感謝



17年ぶり快挙
3度目の受賞

いわいずみ議会だより
第194号（3年4月
発行）が3年度町村議
会広報全国コンクール
で、317町村の応募の
中から第1位となる最
優秀賞を受賞しました。
最優秀賞は17年ぶり
3回目の受賞で、悲願
達成です。

震災の企画記事と
町民取材が高評価

東日本大震災から10
年目の特別編として企
画した「シリーズ私の
復興」と町民の意見を
取材して掲載している
「まちの声」が高く評
価されました。
皆さまの取材協力と
ご指導のおかげで最優
秀賞を受賞することが
できました。
これからも皆さまに
親しまれ、読んでいた
だけの議会だよりを
作っていきます。



これからも取材のご協力をよろしくお願いします



最優秀賞を受賞した第194号表紙

お詫びと訂正

いわいずみ議会だより第197号（令和4年1月14日号）11ページで歴代最年少議員に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。
誤：小松原進さん 31歳で就任
正：有原進さん 27歳で就任し、
昭和40年から平成21年まで11期在任

次回の定例会のご案内

6月2日(木) 本会議
一般質問
3日(金) 一般質問
7日(火) 条例補正予算審査
本会議 の予定です。
※都合により変更となる場合があります。

編集後記

▼2月定例会の会期中に朗報が飛び込みました。令和3年度広報コンクールで議会だよりが最優秀賞、全国926町村トップの栄誉に▼伝える読まれる議会だより。日本一を目指そうと取り組んだ『本議会だより編集方針』は「町民参加、読みやすい紙面づくり」です▼住民を取材し『まちの声』を掲載。広報に広聴機能を重視しています。10位、2位、今回1位と常任委員会編集で3年連続入賞です▼4年度からは、中居町政二期目がスタートです。今議会は11議員が一般質問に登壇し論戦。これからも二元代表制一翼を担います。
広報広聴常任委員
畠山 和英

広報広聴常任委員会

委員長	畠山 昌典
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
	畠山 和英
	千葉 泰彦
	野館 泰喜



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一岡伐に寄与した紙」を使用しています。